

県政の動き

12月11日(水)～2月10日(月)

- 12月16日(月) 年末年始の地域安全運動
- 12月17日(火) 観光まごころ県民運動会長表彰
- 12月18日(水) ★地域リーダーと語る会
- 12月27日(金) ★かごしまおごじよ委員会「提言書」提出
- 1月12日(日) ★桜島大正噴火「防災」100年式典
- 1月12日(日) 桜島火山爆発総合防災訓練
- 1月17日(金) ★明治維新150周年記念 カウントダウンシンポジウム
- 1月18日(土) 九州グローバル人材交流フェア2014 in鹿児島
- 1月22日(水) 鹿児島・シンガポール交流会議
- 1月24日(金) ★鹿児島島の夕べ
- 1月29日(水) 県・市町合同公売会
- 2月1日(土) ★鹿児島空港利用旅客2億人感謝セレモニー
- 2月1日(土) ★県立サッカー・ラグビー場 オープニングセレモニー
- 2月4日(火) 人権同和問題県民のついで
- 2月5日(水) 鹿児島県森林・林業振興大会
- 2月7日(金)～2月9日(日) ★フラワーフェスティンかごしま2014
- 2月9日(日) 地域医療フォーラム in 奄美

★は写真入りで紹介

12月18日(水)

地域リーダーと語る会



伊藤知事が県民と直接対話を行う「知事と語る会」を、「地域リーダーと語る会」と題して指宿市において開催し、さまざまな分野で活躍されているリーダーの方々19人が出席した。

第一部では、知事が県政概要などについて説明を行った後、農業や観光など各分野の現状や課題などについて地域リーダーと意見交換を行った。第二部では、知事と地域リーダーが会食しながら、和やかな雰囲気の中、南薩地域の未来について語り合った。

また、知事は語る会に先立ち、指宿市内の指宿港海岸や、鯉節生産工場、ソラマメほ場などを視察した。



12月27日(金)

かごしまおごじよ委員会「提言書」提出



「かごしまおごじよ委員会」を代表するグループリーダー6人から県政全般に関する政策提言が伊藤知事に提出された。

同委員会は、女性の知恵や感覚を県政に一層活かすために設置されたもので、これまで5回の委員会を開催して、活発な議論を行い、「観光・文化」や「教育・子育て」、「雇用・社会進出」など6つの分科会ごとに提言を取りまとめた。

県としては、提出された政策提言について、県民の方々に広く周知を行うとともに、平成26年度当初予算において、それぞれの分野で具体的な施策の展開を図り、その実現に取り組んでいくこととしている。



桜島大正噴火「防災」100年式典



併せて、大正噴火
およびその後の
100年を総括す
る内容の記念誌を
発刊した。



平成26年1月12日は桜島大正噴火から100年の節目に当たることから、過去の教訓を後世に伝え、県民の防災意識の高揚を図る式典を桜島総合体育館で開催した。

地元住民のほか、防災関係者、移住関係者など約750人の出席のもと、大正噴火被災者への黙とうを捧げ、功労者への表彰、当時の体験談を基にした動画の上映、防災講演、地元の小中学生による「防災の誓い」などを行った。

明治維新150周年記念カウントダウンシンポジウム



独自の視点で薩摩の
先進性などについて
語られた。

定員600人の募集
に対し1300人を超
える応募があった。



日経ホール(東京)において「明治維新150周年記念カウントダウンシンポジウム」(薩摩から新たな時代へ)が開催された。

渡邊あゆみ氏(NHKアナウンサー)から番組(NHK「歴史秘話ヒストリア」)を通じて知った薩摩の魅力について語られたほか、神奈川県との交流の一環で伊藤知事と黒岩神奈川県知事による「トークセッション」や原口泉氏(志学館大学教授、島津家33代島津忠裕氏、外川淳氏(歴史アナリスト)らによるパネルディスカッションでは、パネラー

鹿児島のタベ



土料理などの紹介・
提供を行った。

伊藤知事は大島紬
に身を包み、本島の多
彩な魅力をPRした。



東京都内のホテルにおいて、鹿児島の特産品や観光のPRを行う「鹿児島のタベ」を開催し、鹿児島にゆかりのある方など約800人が出席した。

今回は、「昔も・今も・これからも」時代に挑戦する鹿児島「明治維新150周年」に向かって「」をテーマに、明治維新期の鹿児島や、本島の2つの発射場から打ち上げられるロケット、日本最大級のメガガンナーなど、未来に向かって挑戦する鹿児島を紹介・展示するとともに、県産の農林水産物や特産品、郷土料理などの紹介・提供を行った。

鹿児島空港利用旅客2億人感謝セレモニー



鹿児島空港利用旅客2億人達成を記念して、国、県、空港ビル、航空会社などにより「鹿児島空港利用旅客2億人感謝セレモニー」が開催された。

セレモニーでは、空港長や県企画部長のあいさつのほか、利用客への記念品贈呈などが行われた。

鹿児島空港は、昭和47年4月に現在地に移転・開港し、現在、国内線・国際線合わせて20路線が運航、年間約500万人に利用されている。本年3月30日には香港線が就航する予定となっており、鹿児島空港は、鹿児島県の空の玄関口として、ますます重要な役割を果たすことが期待される。



県立サッカー・ラグビー場オープニングセレモニー



5年の歳月をかけて、天然芝2面、人工芝1面の競技場と、その周囲に本県産の木材を使用した観客席やクラブハウスなどが整備された県立サッカー・ラグビー場がオープンした。

オープニングセレモニーでは、伊藤知事のあいさつの後、関係者によるテープカットが行われた。知事の始球式に続くエキシビジョンでは、サッカーの鹿児島ユナイテッドFCとジュビロ磐田のゲームおよびジュニアラグビーの交流戦が行われ、詰めかけた多くの観客から歓声があがった。

フラワーフェスティンかごしま2014



一足早い春の訪れを告げる「フラワーフェスティンかごしま2014」がかごしま県民交流センターで開催された。

フラワーフェスタは、県民の方々にたくさんのお花と触れ合ってもらいたい、暮らしの中で花や緑がより一層身近なものとなるよう、県ならびに花の生産や流通・販売に関わる団体などが一体となって開催している。

会場は、約2万本の花で彩られ、県内各地で生産された花の装飾展示をはじめ、フラワーアレンジやガーデニングなどの体験教室、ワークショップなど、盛りだくさんのイベントが行われ、多くの来場者が花との触れ合いを楽しんだ。